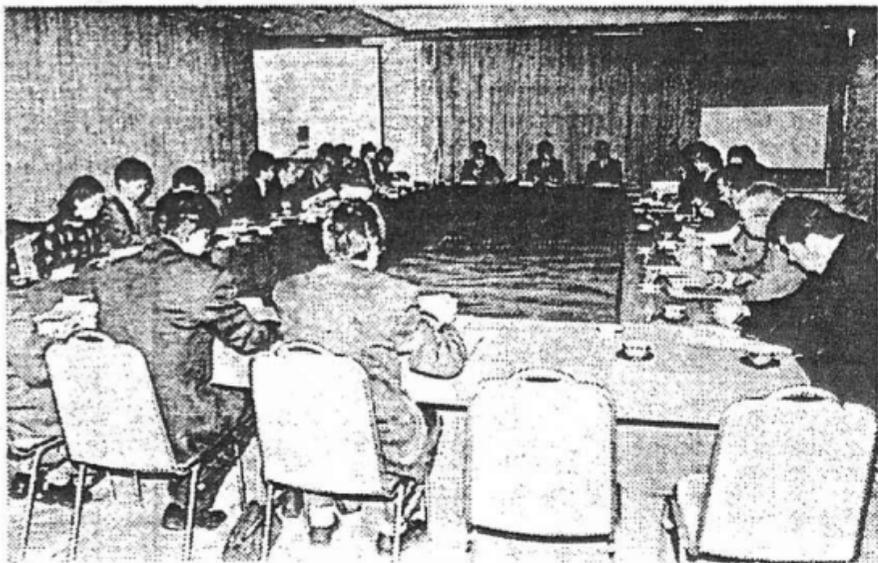


より迅速な救援を

AMDAが
大阪で会議 空港との連携模索



空港との連携について積極的に意見が交わされた
AMDAの会議

医療ボランティアのアシ
ア医師連絡協議会（AMDA）
A、本部・岡山市）は十五
日大阪市内のホテルで「国
際貢献における関西国際空
港の役割」と題した会議を
開催。より迅速な緊急救援
活動を目指し、空港と連携

するシステムづくりについ
て協議した。

会議にはAMDAの菅波
茂代表はじめ、岡山県航空
協会、同県、運輸省大阪航
空局、関西国際空港会社、
航空会社などから二十八人
が出席。菅波代表が「災害
時の人命救助は最初の二十
四時間が勝負。このため国
外の現地に入るには飛行機
が不可欠」とあいさつした。

続いて、AMDAがサハ
リン大震災や朝鮮民主主義
人民共和国（北朝鮮）の大
洪水などで出動した実例を
振り返りながら、休日の空
港の対処や通関業務の簡素
化などの問題点を提起し
た。

これに対し、出席者らは
「関西空港は二十四時間対
応するサービスセンターが
あり、そこに連絡が入れば、
緊急受け入れ態勢をとるこ
とも可能。人道援助を最優
先したい」（関西国際空港
会社）、「飛行機を準備す
るため、各航空会社に緊急
連絡網を整備してはどう
か」（航空会社）、「報道
用のヘリコプターは従来か
ら二十四時間態勢なので協
力できる」（報道機関）な
どと意見交換。岡山空港か
ら関西空港への連絡につい
て岡山県は「岡山空港は十
三時間態勢なので、現状
では適用時間外の対応は
難しい」と述べるところま
だった。

これに対し、出席者らは
「関西空港は二十四時間対